

## FUYO クリスマスパティー コンサート・プログラム

平成 26 年 12 月 13 日 (土曜日)

フェスティバルタワー・アラスカ

出演 ソプラノ 高嶋優羽さん

丸山晃子さん

喜多美幸さん

テノール 中川正崇さん

ピアノ伴奏 高島春樹さん

司会 大岡美佐さん

### ～第一部～

#### カッチーニ：アヴェマリア

丸山晃子

今やカッチーニ作曲で知られていますが、実は彼の作品ではない説が有力です。  
歌詞は「アヴェマリア」のみ。メロデックな旋律で綴られます。

#### ヘンデル：私を泣かせてください

丸山晃子

オペラ『リナルド』のARIA。

囚われの身となったアルミレーナが、敵軍の王の求愛を拒絶恋人への貞節を歌います。

#### アリャビエフ：夜うぐいすくナイチンゲール>

高嶋優羽

ロシアの作曲家・アリャビエフが、シベリアに流刑された頃に作曲されたとされる。

ロシア民謡の旋律の中に、うぐいす（ヨーロッパに分布する小夜啼鳥）の鳴き声が散りばめられています。

「夜うぐいすよ、おまえはどこへ飛んでゆき、今宵はどこで歌うのか。」

#### プッチーニ：歌劇“ラ・ボエーム”より「私が街を歩くとき」

高嶋優羽

第2幕・カフェ・モミュス。

クリスマスを祝う群集で賑わう通りで、物売りが口々に声を張り上げている。ボヘミアン仲間はカフェに集まり食事を始める。ロドルフォはミミに帽子を贈る。そこにマルチェッロの元の恋人ムゼッタが金持ちのパトロンアルチンドロとともにやってくる。彼女は頻りにマルチェッロの気を引こうとする。

#### プッチーニ：歌劇“ラ・ボエーム”より「わたしの名はミミ」

喜多美幸

第1幕 パリの屋根裏部屋。

クリスマス・イヴの日、詩人ロドルフォは筆が進まない。そこへ、扉をノックする音がして、階下に住む貧しいお針子のムゼッタがロドルフォの元を覗きに來ます。ロドルフォは、ムゼッタの歌を聴く。

暗がりの中を手探りで鍵を探す二人の手が触れ合い、ロドルフォはミミの冷たい手をしっかり握って自分の事を紹介すると、ミミもそれにこたえて「わたしの名はミミ」と身の上を語ります。

プッチーニ：歌劇“トスカ”より「歌に生き、恋に生き」

喜多美幸

ファルネーゼ宮殿の一室。警視総監スカルピアの前に、カヴァラドッシが連行され、厳しい尋問を受けています。そこへ、先勝祝賀会で歌い終わったトスカが入ってくるが、恋人カヴァラドッシの苦痛の声に耐えきれず、白状します。そこへナポレオン軍が大勝したとの報せが入り、カヴァラドッシは狂気してスカルピアを罵り、激怒した彼はカヴァラドッシの投獄を命じます。恋人の助命を請うトスカに、スカルピアは彼女の身体を代償として要求した為、トスカは絶望的な望みに心が乱れ「歌に生き、恋に生き」、彼の要求に屈します。

～乾杯～

～お食事タイム～

～第二部～

テノール

中川正崇

フニクリフニクラ、オーソレミオ、サンタルチア、女心の歌、カタリカタリ、誰も寝てはならぬ、帰れソレントへ……の中から

ソプラノ

高嶋優羽

ヨハンシュトラウスⅡ 「春の声」

ソプラノ

丸山晃子

フォーレ

「ピエ・イエズ」

ソプラノ

喜多美幸

プッチーニ

「蝶々夫人」から「ある晴れた日に」

その他

～福引タイム～

山内 康俊さん